

氷見市議会産業建設委員会会議録

令和5年6月26日(月)
氷見市庁舎議事堂委員会室
開 会 午前 9時58分
閉 会 午前10時48分

- 1 案 件 令和5年6月定例会において産業建設委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 5名
稲積委員長、竹岸副委員長、松原委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 積良議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 串田局長、洲崎主査
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、石田産業振興部長、
神代建設部長、正保消防管理監、杉本観光交流課長、赤倉農林畜産課長、浜本ふるさと整備課長、
堂田道路課長、高田都市計画課長、谷野消防総務課長、そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 3人
- 7 付託議案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・稲積委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可決または承認することに決した(主な質疑応答は別紙のとおり)。
 - ・委員長報告は委員長に一任され、特筆事項は無しとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和5年6月26日

氷見市議会産業建設委員長

稲積 佐門

令和5年6月産業建設委員会付託案件表

令和5年6月26日(月)午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

◎消防総務課 10:00～

- ・議案第36号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第3号)中
消防総務課所管に係る事項……………説明書P.26
- ・議案第44号 物品の取得について……………議案書P.28
- ・議案第45号 物品の取得について……………議案書P.29

◎観光交流課 10:09～

- ・議案第36号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第3号)中
観光交流課所管に係る事項……………説明書P.22

◎農林畜産課 10:07～

- ・議案第36号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第3号)中
農林畜産課所管に係る事項……………説明書P.22

◎ふるさと整備課 10:24～

- ・議案第36号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第3号)中
ふるさと整備課所管に係る事項……………説明書P.22

◎道路課 10:26～

- ・議案第36号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第3号)中
道路課所管に係る事項……………説明書P.24
- ・議案第47号 市道路線の認定及び変更について……………議案書P.31
- ・議案第48号 物品の取得について……………議案書P.32
- ・報告第3号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P.52

◎都市計画課 10:35～

- ・議案第36号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第3号)中
都市計画課所管に係る事項……………説明書P.26
- ・議案第43号 氷見市都市公園条例の一部改正について……………議案書P.25

※付託案件外あり

(注)財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

農林水産課	
谷口委員	<p>氷見市ワインバレー構想活性化事業について 期待される効果として雇用者数の増加を挙げているが、雇用形態はどのような形を想定しているか。</p>
赤倉農林畜産課長	<p>7. 1人の増加を期待しているが、非正規雇用・パート職員等も見込んでいる。</p>
谷口委員	<p>新しい6次産業化の事業であるため、将来的に氷見市のこの活性化、若者の雇用の確立などにも力を入れていただきたい。</p>
赤倉農林畜産課長	<p>ご指摘のとおりであり、実施主体には働きかけていきたい。</p>
松原委員	<p>ふるさと融資による貸付等の際の連帯保証に係る保証料を補助するわけであるが、ここ数年本制度を利用されていなかった経緯として、低金利であった昨今では、保証料の方が高つくため銀行融資のほうが有利であり、利用がなかったと認識している。 今回の連帯保証料補助制度の創設の経緯はなにか。なぜこのタイミングであったのか。</p>
赤倉農林畜産課長	<p>昨今は低金利になったため保証料の割合が高いような現状であったが、地域創生を絡めた地域振興の観点、また金融機関の方からの強い要望もあり制度の見直しに至った。加えて今般の民間活力を活用しようという事業が発足したタイミングでの保証料の支援制度を創設したものの。</p>
松原委員	<p>本事業に合わせた形で制度変更したというように見える。様々な形での新しい起業、あるいは企業化を目指している方など、いろいろな方に使っていただけるような制度とすることが行政としては一番の良い方法かと思うがどうか。</p>
赤倉農林畜産課長	<p>本事業は国補助の内示が4月に入ってからあったもので、もっと早い段階であったなら年度末等のタイミングで協議できたところであった。 ふるさと融資制度は公益性や雇用確保の必須などの諸条件に合致する必要があるが、周知し広く活用いただきたいと考えている。</p>

<p>道路課</p> <p>松原委員</p> <p>堂田道路課長</p>	<p>市道路線の認定及び変更について</p> <p>朝日公園2号線について、市道認定委員会の際に現地を確認したが確かにすれ違いができないと思われた。今後、今回の整備区間以降についても整備を進めていくのか。</p> <p>現段階では整備計画はないが、旧市民会館跡地を通って朝日山公園に至る重要な道路であり、まちづくりの観点でも非常に重要な位置を占める道路であると考えているため、引き続き検討していきたい。</p>
<p>都市計画課</p> <p>※付託案件外</p> <p>松原委員</p> <p>高田都市計画課長</p> <p>松原委員</p>	<p>公営住宅入居時の保証人について</p> <p>公営住宅入居時の保証人について、本会議での萬谷議員への答弁では保証人を2人から1人に変更し対応しているとのことであったが、国土交通省からはなるべく保証人がいなくても、独居老人も含めて誰でも入れるようにすべきといった通達が出されているが、県内ではどのような状況か。独居高齢者などは保証人を選出すること自体困難となるのではないかと。</p> <p>本会議答弁のとおり当市では国の通知を受け、令和4年4月から保証人を2名から1名に減らし、少しでも入居いただきやすいように対応したところである。</p> <p>ご指摘のとおり、全国ではその保証人を撤廃するという措置をとっている自治体もあるが、県内の状況は富山県をはじめ14の公共団体のうち5団体では、保証人の他に保証会社の保証をその代わりとすることも可能とする方法をとっていると聞いている。</p> <p>県内では保証人を撤廃している自治体はないが、保証会社で対応している自治体に聞き取りをするなど調査確認していきたい。</p> <p>情勢の変化と必要性に応じ柔軟に対応していただきたい。</p> <p>5団体：富山県、富山中、高岡中、小矢部中、立山町</p>